

進路だより

H 2 8

1 月発行

第3号

新年あけましておめでとうございます。寒さ厳しい中ですが、皆様、お変わりございませんか。

今回は、高等部の現場実習について紹介したいと思います。本校の高等部では、1年生は2日間（福祉事業所）、2年生は3日間を2回、3年生は5日間を3回の実習を基本として取り組んでいます。2、3年生は本人や保護者の希望を聞きとりつつ、本人の適性や状況を考え、本人に合った実習先を決定し

ていきます。

実習中は普段見られないような新しい一面や、実習先の利用者の方や職員のように、黙々と作業に取り組む様子が見られました。実習を終えた生徒は、自信が付き、充実した様子で帰ってきます。

3学期、進路決定は大詰めですが、1月に実習を行う3年生もいます。あせらず本人や保護者、担任、進路指導部と話し合いを行いながら進めています。

高2、高3現場実習の様子



わかば園第2作業所
（お灯たいまつ作り）



エコ工房「四季」
（EMぼかし作り）



第2なぎの木園ステップ
（喫茶アンカフェにむけて調理）



（チラシを使っのカラーージュ）



虹
（空き缶つぶし）



サンかつら
（シートカバー取替え）



わかば園（草刈り）



ミスタードーナツ
（コーヒー準備）



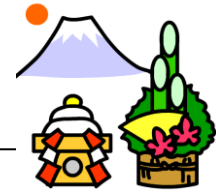
熊野新聞
（新聞校正）



夏山組
（ペンキ塗り）



2年生現場見学会



高等部の進路学習の一環として、2年生で現場見学会に取り組んでいます。本校卒業生の現場で働いている様子を見学させていただき、今後の進路学習や現場実習に役立たせることを目的としています。主に一般事業所や作業所、グループホーム（ケアホーム）などを実際に見学し、貴重な経験を積んでいます。

今年度は、12月10日にイオン新宮店と第2なぎの木園グループホーム、わかば園第2作業所の3か所を見学しました。

本校卒業生が働いているイオン新宮店では青果部門内での仕事の様子を見学させていただきました。店内への品出し、商品整理、商品の前出し等を実際に見て、保冷庫の中に入れていただくこともできました。特に卒業生が品出しをしながら、お客さんからの質問に対応している様子を偶然見せていただくことができたのは、仕事に対する責任や大変さを知る良い機会になったと思います。また、生徒が事前に用意しておいた質問に答えていただく中で、仕事を続けるために必要なことは「あきらめない気持ちを持つこと」「常に仕事に対して本気で取り組むこと」という先輩からの言葉があり、生徒たちの心にも響いたのではと感じました。

第2なぎの木園では、グループホームについての説明、取り組みを聞かせていただきました。生徒たちは部屋の様子を見せていただき、「きれいだなあ」と驚いていました。質問にも1つずつ答えていただき、将来のグループホームの生活を想像する上で貴重な体験になったと思います。

わかば園第2作業所では、卒業生も多く働いており、質問にも答えていただき、より身近に作業所や卒業後の生活について捉えられたのではないかと思います。また先輩のように働きたいという思いも目覚めたのではないかと思います。

本年度の今後の予定は高等部1年生の現場実習、高等部3年生（一部生徒）の現場実習、高等部3年生が中心となる現場実習報告会があります。現場実習報告会は3年生がこれまで取り組んできた現場実習を振り返り、現場実習で大切なことや進路決定に至った経緯を1,2年生に報告し、1,2年生に今後の進路学習や現場実習に活用してもらうことを目的としています。



←イオン新宮店にて



←第2なぎの木園
グループホーム
にて



←わかば園第2
作業所にて